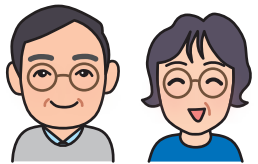


真冬の夜、トイレに行くのに覚悟が要る家から

暖かい家族団らんの家を ローコストで実現



京都府亀岡市
Mさんご夫妻

Q 前に住んでいた家は、どんな家でしたか？

築40年の中古住宅で、冬寒くて室温が3℃ということもありました。窓の結露もひどくて毎朝ワイパーでジャークト…朝は結露が凍って窓が開かなかったり。

Q 聞いているだけで寒そうです…

お風呂の脱衣所が本当につ



このままではヒートショックで
危ないと思いました

らかったですね。夜トイレに行くときは、ふとんから出るのに覚悟が要りました。このままでは自分たちがヒートショックで危ないな、と。

Q 夏はどうでしたか？

前の家では、エアコンを買わず扇風機だけでしのいでいましたが、この数年は夏の暑さに耐えられなくなってきました。

Q 家を建てられたきっかけは何ですか？

老朽化がひどく、暑さ寒さも限界でした。それに、太陽

Q 今の家はどようですか？

もう本当に快適で、毎日幸せです。朝起きるのも楽しい、お風呂が浴室も脱衣所も暖かいのでとても気持ちいいです。建て替えてから「あかぎれ」がなくなったので、血行もよくなったのかな…。

Q 暖房器具は何を使っていますか？

1階と2階にエアコン1台ずつです。床暖房も検討しましたが、エアコンだけで十分でしたね。工務店と相談して、窓に断熱カーテンとハニカムスクリーンを付けたのですが、これがとても効果的でした。

Q 光熱費は変化しましたか？

面積は広くなったのですが、冬はほとんど変わっていませんね。夏はエアコンを



▲ハニカムは「ハチの巣」という意味。ハニカムスクリーンは立体的な空気層で断熱し、窓辺の冷気や熱気を遮ります。

使うようになったので少し増えていきます。

亀岡の冬は霧が多いので、太陽光発電の発電量が少ないのではないかと心配だったのですが、1年間の発電量は京都府の平均並みでした。

Q 断熱性と気密性を高めることで、冬の室温3℃の家から快適な温度の家に生まれ変わ



▲今の家のLDKは、引き戸を開ければ広～い空間に。冷暖房時は閉めれば省エネです。

わり、電力の自給自足で災害にも備えられますね。

自分たちがこうしたいというイメージにつきあってくれたのが、町の工務店のいいところだと思えます。間取りも開放的になって、ごはんをつくっているときに家族と喋るのが楽しいです。

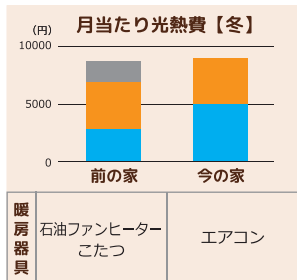
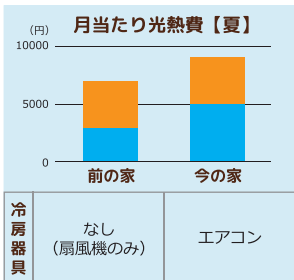
ローコストにするため、
工務店と徹底相談

DATA

※前の家に比べ今の家は、延床面積4.2%増

■ 電気 ■ ガス ■ 灯油

| 住宅性能 | |
|------|-------------------------------------|
| 築年 | 2019年 |
| 断熱材 | 現場吹き付け硬質ウレタンフォーム ※遮熱材としてアルミ熱線反射材 |
| サッシ | アルミ樹脂複合サッシ 複層ガラス |
| UA値 | 1.18W/m ² ・K |
| C値 | 0.4cm ² /m ² |



▲1階のエアコンはLDKと脱衣所の間に設置。真冬の脱衣所もポカポカ暖かく、リビングと温度差がありません！

Q どうやって工務店を探しましたか？

折込チラシで見つけた工務店に、こちらの希望を伝えて、ローコストで実現できる提案をしてもらいました。

太陽光発電について工務店に相談したところ、屋根の遮熱にも効果があると勧められました。

光発電を導入しエネルギーの自給自足を目指したくて、建て替えを決心しました。